

ソーシャルワーカーデー 2025 in あいち

ソーシャルワーカーの活動の普及推進を目的に、2009年より「海の日」をソーシャルワーカーデーとし、毎年全国各地で様々なイベントが開催されています。愛知県では例年7月に、日本ソーシャルワーク学校連盟東海北陸ブロック・愛知県社会福祉士会・愛知県精神保健福祉士協会と共催しています。

今年のテーマは「ソーシャルワーカーに聞いてみよう！」と題し、地域住民(主ターゲットは高校生)を対象にソーシャルワーカーの魅力を伝えることを目的として開催しました。毎年、大学の講義室をお借りしていましたが、今回は金山南ビルの屋外イベントスペースをお借りし、10月19日(日)に行いました。

延べ93名の方に足を運んでいただきました。内容としては各団体の特徴や扱う制度等、団体毎で内容を企画し、ポスターとワークショップという形式で行いました。



■内容

愛知県社会福祉士会では、高齢者の方の視力や聴力、筋力低下を疑似体験することができるコーナーや認知症チェックリストの実施、また実際の高齢・介護・障害などの相談コーナーを設けていました。ポスターとしては、複数ある社会福祉士になるルートが視覚化されていました。

愛知県精神保健福祉士協会では、精神保健福祉士がこういった所で活躍しているのかを掲示しており、また、「医療」「行政」「司法」「暮らし」といったカテゴリーに分け、それぞれに関係するキーワードを記載。テーブルには、協会の記念誌や書籍などの展示を行っていました。



愛知県医療ソーシャルワーカー協会では、協会の紹介をしつつ、医療ソーシャルワーカーのやりがいについても掲示。医療分野で扱うことが多い制度、「高額療養費制度」「傷病手当金」「身体障害者手帳」「障害年金」「労災保険」「介護保険」についてQ&A方式で掲示し、来場してくれた方々にクイズ感覚で学んでもらえるよう工夫をしました。

■開催してみた

これまで、参加希望の方に会場(大学)に来ていただく形式で行っていました。しかしそのようなやり方だと、なかなか一般市民の方へのアプローチがしにくいと感じていました。そこで今回は、人が集まる・人通りがある場所で開催をし、通りすがりの方に少しでも興味を持ってもらえるようにと考えました。そして主ターゲットとである高校生に対しては、福祉系コースのある高校にチラシを郵送することで広報を行いました。

上記で記載したように、当日は延べ93名の方に来場いただきました。通りすがりでポスターを見て行かれる程度の方もいれば、用意してある席に座って、じっくりと質問や相談をされる方もいました。

ソーシャルワーカーに興味がある娘さんのご両親が話を聞きに来られたり、病院のソーシャルワーカーに転職を考えていて話を聞きに来られたりする方もいて、初めての試みでしたが、今までと違った方々に参加いただけて、有意義なやりとりができたと感じています。



県民や学生にソーシャルワーカーの魅力を伝え、ソーシャルワーカーの普及や活躍を通じて県民の福祉が向上するように、関係団体と共に今後も様々な企画を推進していきます。

(文責 ソーシャルワーカーデー実行委員会 委員長 渡邊啓后)